

2 人工林率が低い地域の人工林整備の必要性

(1) 集約化の状況、見通し（令和5年4月現在）

(%)

地区	森林率	人工林率	集約化率	今後の集約化の見通し
稲武	85	63	84	100%予定
下山	82	70	67	80%予定
旭	79	62	66	80%予定
足助	79	50	45	60%予定
小原	73	30	21	25%予定
藤岡	69	13	12	これ以上困難
猿投 松平	64	15	14	これ以上困難
全体	76	46	57	70%予定

※別紙、集約化事業地位置図 参照

(2) 配慮すべき事項

・急傾斜地崩壊危険区域

傾斜角度 30 度以上、高低差 5m以上の急斜面があり、その急斜面の崩壊によって被害を受ける一定以上の人家や公共施設がある場合、土地を触る工事によってその急斜面に悪影響を及ぼすと考えられる一定の範囲

・山腹崩壊危険地区

山腹崩壊により公共施設・人家等に直接被害を与えるおそれのある地区

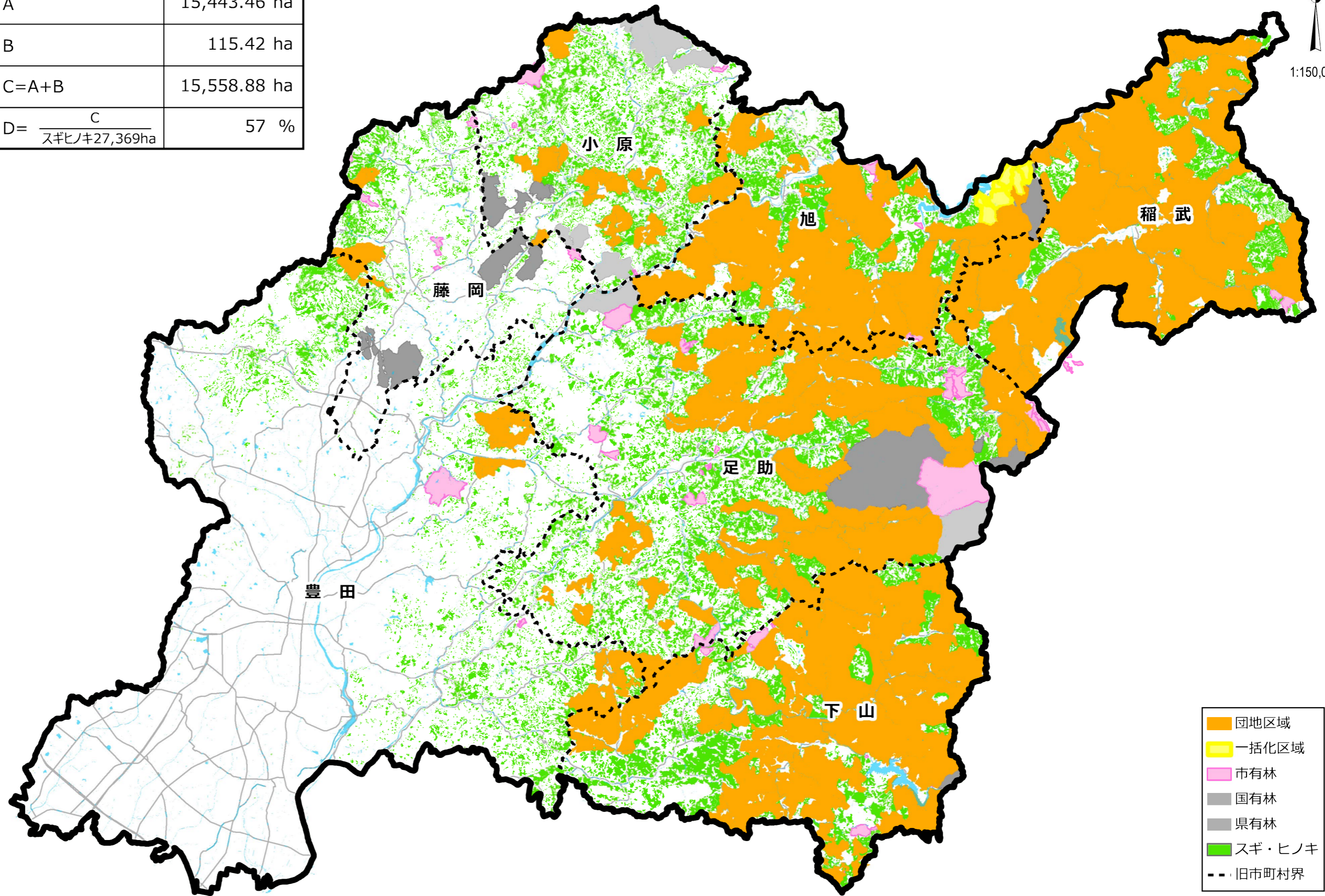
・保全対象（人家・道路・農地など）との距離

・森林の条件

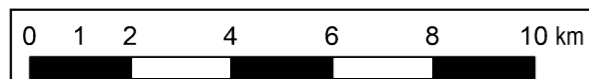
人工林面積（一体的な面積）、傾斜角度、土質など

集約化実績

地域森づくり会議数		114
団地面積	A	15,443.46 ha
一括化面積	B	115.42 ha
集約化済合計面積	C=A+B	15,558.88 ha
集約化進捗率	$D = \frac{C}{\text{スギヒノキ}27,369\text{ha}}$	57 %



- 団地区域
- 一括化区域
- 市有林
- 国有林
- 県有林
- スギ・ヒノキ
- 旧市町村界



集約化事業地位置図
(令和5年4月現在)